

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 17 日現在

機関番号：32689

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23730174

研究課題名(和文) 中国の対外援助の政策目的およびその効果 日本のODAと比較して

研究課題名(英文) The Purposes and Effects of China's Foreign Aid: as Compared with Japan's ODA

研究代表者

徐 顯芬 (Xu, Xianfen)

早稲田大学・アジア研究機構・招聘研究員

研究者番号：90434216

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円、(間接経費) 510,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、中国の対外援助の実態を明らかにし、中国と日本の対外援助の比較研究を行うことを目的とした。三年間の研究成果としては、第一に、中国の対外援助の実態について、既存の文献資料の調査に加えて、鋭意現地調査を行った結果、系統的なデータベースの構築を進めた。第二に、積極的に中国の地方档案館(雲南省、広東省、遼寧省档案館)および援助受け入れ国に出張して資料調査を行った。第三に、10回の学会報告と、6件の論文の執筆にて研究成果の発表に努めた。その内容としては、日中関係における対外援助の意味合い、日中両国の対外援助をめぐる日米中関係、日中両国の対ベトナム援助の比較研究、などを取り上げた。

研究成果の概要(英文)：The object of this study is not only to clarify the reality of China's foreign aids, but also make a comparative research of foreign aids between China and Japan. As the results of three years, firstly I have made a positively investigation and promoted the construction of data base of China's foreign aids systematically based on the existing literature materials. Secondly, I have made a positively date collection activities at local archives (such as Yunnan, Guangzhou and Liaoning province's archives) and aids recipient countries. Thirdly, regarding to the meaning of foreign aid at the Sino-Japanese foreign aid activities and comparative research towards aid to Vietnam between China and Japan, I have made 10 academic reports and Published 6 papers and books.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学 国際関係論

キーワード：対外援助 中国 日本 国際関係 国際協調

1. 研究開始当初の背景

研究開始当初、中国の対外援助、特に対アフリカ援助は、その政策および活動の活発化によって、非常に注目されるようになった。ちょうどその頃、研究代表者は日本の対外援助、特に日本の対中政府開発援助を課題として博士学位申請論文を完成し、その後また修正を加え、出版刊行に成し遂げた。その機に、博士論文の分析枠組みを援用して、中国の対外援助、特にその政策目的及び効果を、日本のそれと比較しながら研究分析を進め始めた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、中国の対外援助の実態と、その政策目的および政策効果を明らかにすることにある。具体的には、第一に、1950年から始まっている中国の対外援助の実態を調査し、関係データを収集して、容易に検索・抽出などの再利用ができるようにデータベースを構築する。第二に、中国の対外援助の政策目的を明らかにして、その政策効果を検証する。第三に、中国と日本の対外援助の比較研究を行う。これにより、国際関係において対外援助の果たしうる役割を多角的に分析することが可能となると考える。

3. 研究の方法

研究方法としては、まずは文献調査解読である。特に第一次資料の収集に力を入れて、中国の地方档案馆、例えば、対ベトナム援助のデータを収集するため、中国の西南各省、雲南省、広東省、広西省の档案馆に、対北朝鮮援助のデータを収集するため、中国東北地方、特に遼寧省档案馆に、また対アフリカ援

助のデータを収集するため、浙江師範大学アフリカ研究院資料館に出張して資料調査を行った。また援助受入国、例えばベトナムに行って、資料調査を行った。

次に、統計学の方法を用いて、援助関係のデータベースを構築した。

また、対外援助政策の目的および効果を分析する際、比較研究の方法を多用した。

4. 研究成果

本研究課題の成果として、まずは、1950年から現在までの中国の対外援助の実態を調査し、対外援助の金額、援助規模（財政支出比）、供与対象国別金額、援助形態（無償援助か有償援助か）、供与分野（経済援助と軍事援助）などの項目から構成したデータベースを構築したことが挙げられる。完全なデータまではほど遠いだが、できるだけ完全なデータを収集した。これらのデータを利用して、今後の更なる研究成果の発表が期待される。また、これらのデータを如何に共有させるか、今後工夫していきたい。

次に研究成果の内容について、特に1950年から70年代までの日中の対ベトナム援助の比較研究を行い、学会で発表してきた。来る2014年7月5日にまた菅英輝氏科研費研究会で発表して、2015年刊行の共著に収録される予定である。日中両国の対外援助は、全く異質なものだと言えるほど異なり、いままでほとんど比較研究が成されてこなかった。あえて異質なものを比較研究することによって、国際関係において対外援助が果たしうる役割を浮き彫りさせることができる。政府対外援助の政策効果は、通常「外交手段」として戦略的だと定義されるが、冷戦期の中国の対外援助のそれを考察すると、「革命手段」として使われるものとしても確認できた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 3 件)

- (1) 徐顕芬、「档案文献 日本決定対華提供政府開発援助文件 日本外交档案<開示文書>」、『冷戦国際史研究』16、2013年12月、319-371頁。査読有り。
- (2) Xianfen Xu, “ Japan's Official Development Assistance (ODA) Policy towards China: The Role of Emotional Factors ”, *The Journal of Contemporary China Studies*, Vol.2, No.1, March, 2013, pp.77-94.
- (3) 徐顕芬、「対外援助 『内政不干渉』のレトリックを解読する」、毛里和子・園田茂人編『中国問題 キーワードで読み解く』(第8章)東京大学出版会、2012年9月、203-234頁。

[学会発表](計 10 件)

- (1) 徐顕芬、「援助と地域秩序の形成：日中の対ベトナム援助を例として」、国際シンポジウム「東アジア戦後史における対立と協調：『援助』と地域秩序」、2014年3月21日、中国・華東師範大学中山北路キャンパス。
- (2) 徐顕芬、「米中関係下の中日関係」、国際シンポジウム「現代日中関係の源流をさぐる：再検証1970年代」、2014年3月8日、東京大学駒場キャンパス。

- (3) 徐顕芬、「東アジア国際秩序と日中政府援助」、国際シンポジウム「東アジアにおけるヒト・モノ・情報・資本の多元的流通：グローバルな社会・文化動態研究に向けた学際的試み」、2013年12月14-15日、長崎大学。
- (4) 徐顕芬、「中日対外援助の比較研究」、中日共同ワークショップ「多元文化共生認識」、2013年10月26日、中国・浙江理工大学。
- (5) 徐顕芬、「対外援助における日中協力の可能性」、シンポジウム「中日関係の新しい挑戦と新しい発展」、2013年7月2日、中国・上海社会科学院。
- (6) 徐顕芬、「1970年代末対ベトナム援助をめぐる日米中関係」、早稲田大学アジア太平洋研究センター広域史研究部会「アジア秩序形成の広域的検証」、2013年3月29日、早稲田大学。
- (7) 徐顕芬、「1970年代の日米中関係：多国外交文書による研究」、上海市世界史学会、2012年11月10日、中国・上海大学。
- (8) 徐顕芬、「日中関係の構造的変動と東アジアの共生」、富山大学と愛知大学共催の第2回日中ワークショップ「東アジア共生の諸問題：歴史認識から未来へ」、2012年9月27-28日、愛知大学。
- (9) 徐顕芬、「1970年代の米中関係と日中関係の連動性」、国際シンポジウム「アジアの冷戦：歴史と影響」、2012年3月3日、中国・華東師範大学。
- (10) 徐顕芬、「日本の対中ODAと日中関係」、「中国の変動と東アジア」研究会、

2012年1月22日、立教大学。

〔図書〕(計 3 件)

(1) 共著：

徐顯芬、「歴史問題とODA」、佐藤幸男・森川裕二編『交響するアジア 4 日中対話の新たな可能性をめざして：歴史・記憶との共生』(第8章)、能登印刷株式会社、2013年3月、125-138頁。

(2) 共編著：

松村史紀・森川裕二・徐顯芬共編著『東アジアにおける二つの「戦後」』、国際書院、2012年3月。

(3) 単著：

徐顯芬、『日本の対中ODA外交：利益・パワー・価値のダイナミズム』、勁草書房、2011年11月。

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

(1) テレビ出演。

「上海外語頻道(International Channel Shanghai)」の「中日の橋」番組、2014年3月16日。

<http://www.icshanghai.com/information/2014-03-16/20166.html>

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

徐 顯芬 (Xu Xianfen)

早稲田大学

アジア研究機構

招聘研究員

研究者番号：

9 0 4 3 4 2 1 6

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：